



小池雄一

修郎先生の事件簿

～就労ビザ専門会社の現場から～

スカルノハッタ空港ターミナル3(T3)入国審査カウンターの状況



佐生修郎(さし)よう・しゅろう)は就労ビザ専門会社で働くコンサルタント。その幅広い知識と長年の現場経験、それに深い洞察に基づきさまざまなアドバイスを行い、数々の困りごとを解決してきた。座右の銘は「真面目に不真面目」。

鈴木一郎 大変だ、大変だ、また岩隈君が到着ビザ

(VOA)で入国したいのだから。前回5月下旬に入国した際、VOA料金改定で混乱したから、今の最新の入国審査のやり方を教えて欲しい。佐生修郎 オッケー。どこから始めようか？

鈴木 スカルノハッタ空港ターミナル3(T3)で飛行機を降りて、長い廊下を行くと、入国審査カウンターが並んでいる。広い場所(入国審査場)に出るよね。そこから始めて。

佐生 広い場所に出たら、いったん回れ右をする。そうすると、「VISA ON ARRIVAL」と看板表示がある。その下にいくつかカウンターが並んでいる。それが「VOAカウンター」だ。

鈴木 入国審査カウンターに「FOREIGNER」の表示があるカウンターがあるけど、そこには行かないのだ

VOA到着ビザでの入国方法は!?

う。(2)次に左側の列でパスポートと領収証を出せば、パスポートにビザシールを貼ってもらえて、同時に入国審査カウンターがある場合

佐生修郎 心得の条

一 T3においてVOAで入国する際、入国審査カウンター「FOREIGNER」には並ばず、「VOAカウンター」に並び、(1)VOA購入(2)入国審査(3)入国審査カウンターは素通りする。(9月1日現在)

二 T3の入国審査場の状況は、予告なく突然に変更される可能性がある。臨機応変に対応するように。

ね。佐生 そこには行ってはいけない。追い返されるだけだ。「VOAカウンター」に行く。そこには並ぶ列が2本ある。向かって右側の列は「VOA購入用」。左側の列は「VOA入国審査用」だ。

鈴木 はい、読めた。

鈴木 はい、読めた。

佐生 どこにもそれ以上並ばない。(2)のところに入国審査は済んでいる。だから

佐生 そうだ。これから令和の日本人は想定外のことを受け入れ楽しむ余裕を持たなくちゃね。

こいけ・ゆういち FPCインドネシア代表取締役。89年学習院大卒、日本アイ・ビー・エム入社。フジスタップへ転職後インドネシアでの事業開発を手掛ける。帰国後に独立。「夢ある街のたいやき屋さん」FC経営を経て、12年8月より現職。栃木県生まれ。53歳。

鈴木 その点が日本の本社に伝える時に苦労するのだよね。日本にいる日本人にはそんな状況は理解できない。

佐生 そうだね。だから、ひと通り現状を説明しておいて、「事前通知なく突然変更される場合がありますので、その際には臨機応変に対応願います」と一言付け加えておくことだね。

鈴木 何でもかんでも100パーセント想定しておこうって言うほうが無理だね。

「修郎先生の事件簿」は、原則、毎月第1水曜に掲載します。

※本連載は、実際に起きた事例を参考に、インドネシアに滞在、就労する上で気を付ける点について説明するもので、登場人物や事象はフィクションです。実際の事案に対応する場合は、専門家に相談の上、各自のご判断でご検討ください。